

# 諸塚村森林炭素吸収量活用プロジェクト

## 施策のポイント

当該プロジェクトは、J-VER 制度に登録することを目指して、現在村有林等の公的森林を対象として施行した。厳しい状況にある林業であるが、施業の計画的な創出を行うことにより雇用を安定させるモデル事業として取り組んだ。

### 自治体情報

宮崎県 諸塚村

人口 / 1,781人

標準財政規模 / 2,065,068千円

担当課 企画課

電話番号 直通 0982-65-1116 代表 0982-65-1111 内線 20

実施主体 諸塚村森林認証研究会

関連ホームページ <http://www.vill.morotsuka.miyazaki.jp>

事業期間 平成 21 年度から

参考とした施策 (北海道下川町) 間伐促進型森林づくり事業 (森林バイオマス吸収量推進協議会)

関係施策分類 ② ⑤

## 施策の概要

### 1 取組に至る背景・目的

本村は平成 16 年に FSC 世界森林認証を取得し、環境に優しく継続可能な社会づくりに貢献していることを世界的に認められていた。また、世界的な環境意識の向上から、森林のもつ CO<sub>2</sub> 吸収についても注目が集まっていた。しかし森林管理の実情は、木材価格の下落は止まらず、その不安定な状況から林業の担い手がいなくなり、管理されずに荒れた森林が増え、都市部ではそれをボランティアなどに頼っており、森林環境税を活用した放置林の管理など、場当たりの対策の資金創出は成されているが、放置される原因の対策とまでには至っていない状況であった。

そこで、国のオフセットクレジット (J-VER 制度) の認可を受け、それによる資金を森林の適正な管理の費用にあてることとした。

### 2 取り組みの具体的内容

J-VER 制度に準拠した森林管理の推進により CO<sub>2</sub> 吸収を促進し、低炭素社会を実現する一助となることとあわせて、適正な間伐を推進することにより、地域に根ざした森林管理者の雇用の創出につなげる。また、国土の保全、水源涵養など森林本来の機能を維持できるような森づくりを実現するとともに、豊かな森と資源を活用した都市との交流による地域の活性化など多面的な公課を発揮させるきっかけとする。

### 3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

本村の総面積 17,775ha の内、プロジェクト対象林として諸塚村有林・耳川広域森林組合林・(財)ウッドピア諸塚有林の 111.69ha の間伐を実施し、平成 20 年度から平成 24 年度までの想定 CO<sub>2</sub> 吸収量が 3,399t-CO<sub>2</sub> であるとして想定した。

### 4 現在までの実績・成果

J-VER 制度に登録されたが、クレジットを販売する企業や単価はまだ決まっていない。(平成 21 年 4 月 1 日時点)

## 5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

当該プロジェクトは、諸塚村有林・耳川広域森林組合林・(財)ウッドピア諸塚有林の適正な管理を目的としているほか、FSC 森林認証対象林分であることから、本村内関係者で構成されている諸塚村森林認証研究会、森林炭素吸収量活用委員会の中で協議、検討してきた。

## 6 今後の展開と課題

J-VER 制度の普及拡大は勿論であるが、この取り組みが民有林も含めて本村だけではなく、耳川流域から宮崎県全体、九州全域へと広がりを見せてほしい。

### 予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳 (財源区分: ①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
H21: 850 千円		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	850 千円
①～④の名称、 所管など	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					